

広島沿岸海岸保全基本計画変更検討委員会（第1回）議事概要

1. 日時

令和7年9月10日（水）15:00～17:00

2. 場所

広島県庁収用委員会室（北館5階）

3. 委員

別紙のとおり

4. 議事概要

（1）変更の要旨について

事務局より変更の要旨について説明

（2）変更項目について

事務局より変更項目について説明

（3）気候変動を踏まえた防護水準について

事務局より気候変動を踏まえた防護水準（案）について説明

- ・広島港域以外における見直し後の防護水準は、既往最高潮位に21世紀末の気候変動を考慮した海面水位及び台風による影響を加えた高さとする方針（40～60 cm程度の上昇）について、特段の異議はなかった。

- ・広島港域における防護水準は、現行計画高※の方が、既往最高潮位に21世紀末の気候変動を考慮した海面水位及び台風による影響を加えた高さより高いことを踏まえ、今回の変更においては見直しを行わず、今後の気候変動の動向等により、適宜、見直しを行う方針について、特段の異議はなかった。

※広島港域の現行計画高は、日本の他地域に来襲した最大規模の台風（伊勢湾台風規模）が危険なコース（ルース台風経路）で広島に来襲した場合の想定最高潮位を基に設定しており、広島港域以外の現行計画高は、実際に来襲した台風時の既往最高潮位を基に設定している。

- ・海岸侵食への対応について、気候変動による影響を注視しながら、汀線の保全や回復を図る方針について、特段の異議はなかった。

（4）今後のスケジュールについて

事務局より計画策定までのスケジュールについて説明

（5）その他

その他、委員からの主な意見は以下のとおり

- ・海面上昇により海浜が減少するため、防護だけでなく、利用面についても、計画の見直しを検討する必要があるのではないか。

- ・気候変動予測は今後も更新されるものと考えられるため、今回の見直し後も必要に応じて計画の見直しを検討するべきではないか。



検討委員会の開催状況

広島沿岸海岸保全基本計画変更検討委員会 名簿

(順不同)

氏 名	所 属	備 考
ひびの たちし 日比野 忠史	広島大学大学院先進理工系科学研究科 准教授	
くろいわ まさみつ 黒岩 正光	鳥取大学工学部社会システム土木系学科 教授	
ふくい のぶき 福井 信気	名古屋工業大学工学部社会工学科 助教	
にいむら たかし 新村 貴史	広島県土木建築局 空港港湾担当部長	関係行政機関
おがきはら てつや 小笠原 徹也	呉市産業部 部長	関係行政機関